平成19年度　公立大学法人 大阪市立大学　　財務の概要

■貸借対照表の概要

（単位：億円）

資産の部	
土地	385
建物等	510
備品	50
図書	133
建設仮勘定	4
有価証券その他	18
現金及び預金	56
未収入金	43
たな卸資産	4
その他	8
資産合計	1,211

負債の部	
資産見返負債	172
長期寄附金債務	27
長期借入金	13
未払金	52
その他	41
負債合計	305

資本の部	
資本金	981
資本剰余金	−102
利益剰余金	27
資本合計	906
負債・資本合計	1,211

■損益計算書の概要

（単位：億円）

経常費用	
人件費	244
教育研究診療等経費	163
一般管理費	16
減価償却費	19
経常費用合計	442

経常収益	
運営費交付金収益	157
授業料収益等	51
病院収益	197
外部資金	16
その他	22
経常収益合計	443

臨時損失	
臨時損失合計	2

臨時利益	
臨時利益合計	2

当期総利益	***1***
計	445
計	445

平成１９年度末の貸借対照表の概要は上表のとおりであり、主な項目は以下のとおりです。

資産の部

■建物等　510億円
減価償却等により、昨年度比43億円減となっております。

■備品　50億円
附属病院電子カルテにかかる医療情報システムの資産の増により昨年度比14億円増となっております。

■有価証券その他　18億円
内訳としては、地方債1,093百万円、長期性預金300百万円、金銭信託380百万円となっております。

■現金及び預金　56億円
内訳としては、現金17百万円、預金5,557百万円となっております。

負債の部

■長期寄附金債務　27億円
本学の基金の総額です。

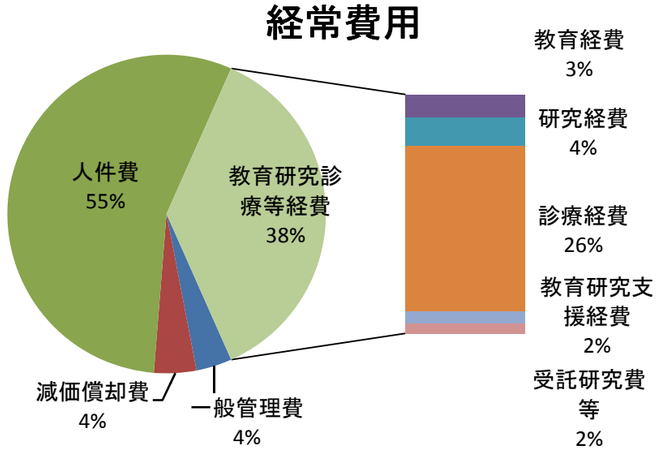
■長期借入金　13億円
医学部附属病院における設備充実のため、大阪市から借り入れたものです。

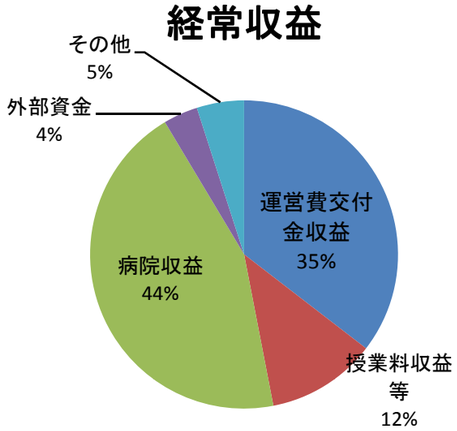
資本の部

■資本金　981億円
大阪市から出資された土地、建物等です。

■資本剰余金　-102億円
公立大学法人会計では、教育研究に用いる特定の建物等にかかる減価償却費相当額を資本剰余金から減額する方法で計上します。今年度はマイナス43億円を計上し-102億円となっております。

■利益剰余金　27億円
内訳としては、目的積立金26億円及び当期総利益の1億円となっております。





当期総利益　約1億円

昨年度は法人化初年度ということで、大阪市から備品等を無償譲渡されたことによる臨時利益が15億円ありましたが、2年目以降は無い為、臨時利益が大きく減少しております。
また、附属病院において減価償却費等の費用が増加し、収益が減少しております。
これらの要因によって、昨年度に比べて24億円利益が減少しております。